

川辺一彦後援会だより

R6.12 2024 キラキラミッション



第 60 号

川辺一彦後援会

令和 7 年 1 月吉日

皆さまには 令和 7 年の新春を、ご家族さまと共に迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。また、平素より川辺一彦議員に対し、多大なるご厚情を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

そして昨年は、元旦の 1 月 1 日に令和 6 年能登半島地震が発生し、その影響は富山県にも及びました。それから 1 年が経過した今もお、不自由な生活を送られている皆さまには、心からお見舞い申し上げます。

さて、川辺市議は昨年 5 月まで 3 年間に亘る砺波市議会議長を務め、新型コロナウイルス感染症の終息に向けた対応とコロナ化脱却後における市民の新たな生活環境構築に向けて尽力してきました。また、議会改革にも果敢に挑戦し続け、令和 6 年 12 月定例会では議員定数 2 名削減を可決するとともに、議員報酬見直しに向けた「報酬審議会」の開催を夏野市長に要請したのです。

これからも川辺議員は、砺波市の発展と市民福祉の向上に向けて全力で挑んでいきますので、今後とも皆さまにはご支援いただきますようお願い申し上げます。

川辺一彦後援会長 川辺 寛

「散居村とたまわぎの川辺一彦ホームページ」

<http://www1.tst.ne.jp/k3070/index.html>

● 3 年間の議長職を退任しました！

令和 3 年 4 月に 4 期目の当選を果たさせてもらい、その後の臨時会で初めての議長職に就かせていただきました。その後も同時期の臨時会で議長選挙に立ち、令和 4 年、5 年と 3 年続けて議長を担わせていただきました。



【議長退任の挨拶】

初年度の令和 3 年は新型コロナウイルス感染症の真最中でありましたが、5 名の新人議員を加えた新しい議会組織の体制づくりと議会改革の進展に取り組みしました。

中でも、砺波市議会基本条例の基本方針である「市民との情報共有」や「議会活動への市民参加」を着実に進めるため、全 21 地区における議会報告会や各種団体との意見交換会、そして全議員による議員研修会などを実践することで、市民の前へ出向く議会づくりと議員資質の向上に努めてきたところです。しかし、私が最大の目的としてきた「議員環境の整備（定数と報酬）」は志半ばになったことには、力量の無さを感じた次第です。

この様に、議員として有意義な機会を与えていただいた議会、行政関係者、そして市民の皆さまに、心から御礼申し上げます。



【本会議場での議長席】

● R6. 1 月～5 月までの議長活動ピックアップ！

1 月 20 日（土）
油田地区での議会報告会



令和 5 年度の議会報告会では「砺波市の子育て支援」をテーマとして開催。油田地区では若い保護者の皆さんに大勢参加していただき、活発な意見交換会ができました。

2 月 1 日（日）
全国高等学校スキー大会



第 73 回全国高等学校スキー大会「インターハイ」が、平スキー場で開催され、砺波スキー連盟からも大会役員として参加。私はコース整備係。

2 月 23 日（金）
台湾嘉義市文雅小学校訪問



チューリップ球根水耕栽培を教材にしている 台湾「嘉義市文雅（カギシブンカ）小学校」を表敬訪問。全校生徒の前で、嘉義市長（中央）と教育長（右端）に紹介される。

4 月 25 日（木）
全国フラワー都市交流会



チューリップフェアの期間中、砺波市で開催された「フラワー都市交流連絡協議会」に、全国 9 市から約 300 名が参加。夏野市長が歓迎挨拶で議長が乾杯の発声。

後援会事務所は自宅です。いつでも お気軽に ご連絡ください。電話・FAX 0763-32-0038

これからもご支援ください！

● 砺波市議会8月定例会で代表質問に挑む！

令和6年5月に議長を退任してから3カ月後の8月定例会で、自由民主党砺波市議会議員会「自民会」の代表質問を託されました。私自身、代表質問は初めての経験ですし、議長在任期間が長かったものですから4年振りとなる登壇になったことで、若干の緊張感を味わわせていただきました。

そこで、以下の6項目について質問したところです。

1. 市長4戦に向けた決意について

- ① 4期目へ向けた市長の熱い思い
- ② 第2次総合計画の後期計画の今後の展開
- ③ 自治振興会と行政との協同について

2. 生産年齢人口の減少に対応したまちづくりについて

- ① 生産年齢人口の減少による砺波市への影響と今後のまちづくり
- ② 生産年齢人口減少時代における農業

3. 散居村を活かしたまちづくりについて

- ① 日本の重要文化的景観への登録による散居景観の観光資源化
- ② 新市庁舎の散居村メインシンボル化

4. 城端線・氷見線の再構築とまちづくりについて

- ① 北陸新幹線の大阪延伸早期開通と砺波市への効用
- ② 新型車両、新ダイヤ等による鉄道利用者の増大
- ③ 新駅構想を核とした新たなにぎわい空間まちづくり

5. 児童・生徒たちの人間形成と学校を取り巻く環境について

- ① 少子化と人間形成に適應した児童・生徒の環境づくり
- ② 放課後における児童達の居場所づくり

6. 総合病院の使命と経営について

- ① 人口減少社会における総合病院の使命遂行と運営
- ② 機能分化を用いた医療体制の構築と総合病院機能の維持継続



【タブレットを見ながらの質問風景】

※ 答弁内容については「砺波市議会ホームページ」をご参照ください！

● 議員提出議案の議員定数2名減、賛成多数で可決！

平成31年4月に制定した「砺波市議会基本条例」に基づき議会改革に取り組んできた砺波市議会では、懸案事項の一つであった議員定数について、定数2名減の16名とすることが可決されました。反対討論には共産党の境欣吾議員が立ち、賛成討論には自民会の川辺議員が立ちました。

賛成の趣旨は3点あり、1つは砺波市も僅かであるが人口は減っており、このまま定数を維持することは適当でないこと。

2つには富山県内の類似団体と比べても、砺波市議会の18名は最多に位置すること。

3つには議会制・民主制のもとでは、住民意思の汲み上げと情報共有、議会での熟議による政策の磨き上げとされており、この考え方こそ「議会基本条例」なのだから「定数の削減イコール議会機能の弱体化にはつながらない！」と、訴えました。



【賛成14名、反対2名で議員定数削減案を可決】

● R6.6月～12月末までの議員活動アラカルト！

7月29日（月）
砺波総合病院を研修視察



民生病院常任委員会では、コロナが明けて初めての総合病院を訪問。2代目となるロボット支援手術システム「ダ・ヴィンチ」を視察し、医療技術の高度化を実感した。

9月27日（金）
夏野おさむ・川辺一彦市政報告会



4期目を指すと宣言された夏野市長との市政報告会。川辺後援会に参加者を募り、私は前座を担当した。100名余の皆さまには、砺波市の将来は届いたろうか。

10月29日（火）
民生病院常任委員会行政視察



山形県酒田市の日本海総合病院では、高齢化と人口減少が進む地域医療の崩壊を防ごうと、介護、医師会、薬剤師会など13法人等で地域医療連携推進法人を設立されていた。

11月6日（水）
滋賀県守山市新市庁舎視察



守山市では、令和5年8月に新市庁舎を開庁。木と緑を基調として防災対策と市民の利便性、庁舎の市民開放を考慮したとの事だが、確かに1階屋根の迫り出しは開放感を生んでいた。